

城南の風

編集・発行
城南地区まちづくり協議会総務部
〒669-2461
丹波篠山市小枕131
コミュニティセンター城南会館内

見つけるといふことがあるかも？ ～医王寺の ラッパイチョウ～

北自治会にある医王寺の境内では、ラッパの形(漏斗状)をした葉が見られます。この葉はイチョウの変異種で、「ラッパイチョウ」と呼ばれています。また、全国的にも稀で、30本ほどしか確認されていないそうです。医王寺では、普通の葉に混じって1割ほど見られます。これは、他地域の「ラッパイチョウ」より出現率が高いそうです。



このめずらしいイチョウを兵庫農科大学学生であった湯浅浩史氏が友人と偶然に見つけて、調査・研究され、1960年(昭和58年)には学会誌に発表されています。湯浅氏は、後に東京農業大学教授や一般財団法人進化生物学研究所理事長・所長になられています。その後、医王寺のラッパイチョウは広く知られるようになり、1977年には、兵庫県の天然記念物に指定されています。

また、このイチョウは、「幸せを引き寄せるラッパイチョウ」とも言われているそうです。見つけた人に、いいことがありますように。

[まち協文化部の名所紹介です]



まち協文化部のサークル紹介



踊ると心も体もすっきり！ 若柳流楽扇会

楽扇会は、毎週土曜日の午後1時から4時まで、若柳行美寿師匠の指導を受けながら、城南コミセンで活動されています。踊っている時はとても真剣ですが、仲間同士のおしゃべりや健康に繋がる活動なども大事にされており、和気あいあいとした温かい雰囲気のあるサークルです。皆さん、心から踊りを楽しんでおられます。自分たちの発表会だけでなく、地域のボランティア出演の依頼にもはりきって参加しておられます。「なかなか満足のいく踊りはできません。踊りは奥が深いです。でも、だからこそ、楽しいです。踊っていると、気持ちがすっきりとして無の境地になり、楽しいですよ」と話し





てくたさいました。「何歳からでもできますので、どうぞ、気軽に見学にいらしてください」と、一緒に楽しむ方を募っておられます。

[連絡先 前川光枝 さん 079-594-5445]

みんなで歌うと、楽しいな！ シルバーエコーささやま

シルバーエコーささやまでは、毎月、歌声サロンを開催し、童謡から唱歌、歌謡曲、民謡などみんなが知っている歌を、ピアノや楽器に合わせて歌っておられます。座っていても、ずっと姿勢が伸びて、目を輝かせながらほんとうに楽しそうに歌っておられます。「歌っていると、心も体もウキウキしてきます」「この日をととても楽しみにして過ごしています。おかげで毎日の生活に張り合いがあります」と話してくださいます。歌だけでなく、楽しい催しや、お茶やお菓子をいただきながら、



みんなで語らうのも楽しみの一つと言われています。毎月第4火曜日の午後に、小嶋医院の2階にあるエステルホールで活動されています。参加費500円(お茶、お菓子付き)となっています。「いっしょに、楽しく歌ってみませんか」と仲間を募っておられます。※12月26日はお休みです。

[連絡先 江坂さん 090-2066-6057 佐藤さん 090-7751-4474]

アグリステーションが、リニューアルしました！

11月3日(金)に、アグリステーション丹波ささやま(小枕)のリニューアルオープンセレモニーが開かれました。

子どもたちや子育て中の保護者にとって、これまで以上に居心地の良い場所、使いやすい場所となってスタートしました。会場には、子どもたちやボランティア、関係者の方々など、多くの人が集まり、大賑わいでした。

また、この日、「子ども第三の居場所」を全国に広げている「日本財団」と「丹波篠山市」、「アグリステーション丹波ささやま」が子どもたちを地域・社会で育てていくためにそれぞれができることを協力していきましょうという協定が結ばれました。

新しくなったアグリステーションを訪れてみてください。

